

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">発音クリニック</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">教育教福1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">高村 博正</p>
<p>授業テーマ：</p> <p>①学生各自が自分の英語発音を改良してゆく。②学習成果が生涯自己訓練法として定着する。③教職で応用できる。</p>		
<p>授業の概要と目標：このクリニックは単なる発音矯正の場ではない。真のコミュニケーションに必要なものは何であるかを考え、各学生自身が訓練を通じてその答えを見つける機会である。具体的な訓練は、最初の授業でサンプル原稿朗読を自己録音し、一年後の最終授業で再び同じ資料を録音する。この Before/After を比較することにより、一年間で自分の発音がどれだけ上達したかを確認する。その間の通常訓練は多様な自己訓練から成る。毎回パートナーを交換し、相互で<英語インタビュー>を行い、peer checking（学生同士の評価）をする。後期から全員の発音クリニック個別指導を行う。全回出席が訓練の基礎である。</p>		
<p>評価方法： 前期・後期の定期試験の他に、毎回の訓練参加とスコアカードの記入成果が評価の対象。毎回の評価点の積算を講義回数で割り、6 割以上獲得が基礎点。優良可の評価は従来通り。欠席は-20 点を加算。遅刻は当日の得点を半減する。初回に一年分のスコアカードを配布する。毎回の評価点は、宿題の準備と成果が4 割を占め、授業での訓練の評価が6 割となる。教師が学生を評価するだけでなく、逆に学生が教師を毎回評価するシステムを採用する。</p>		
<p>テキスト：</p> <p>随時、教室で自作の資料を配付する</p>	<p>テキスト：</p> <p>随時、教室で自作の資料を配付する</p>	
<p>参考書：</p> <p>①「発音クリニック——小学校英語担当者の発音自己訓練法」 ②『これだ!!留学必携ハンドブック』</p>	<p>著者：</p> <p>高村博正 高村博正</p>	<p>出版社：</p> <p>大谷女子大学『紀要』01 ふくろう出版</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入門講義と年間スケジュールの発表/英語自己紹介ビデオ撮影/資料とスコアカード一年分配布 2. <帰国子女>テープの Before 版録音/テープ提出。教材ビデオ「English My Way」鑑賞と感想提出 3. 基礎発音の説明と訓練(1) —— [A] 4. 基礎発音の説明と訓練(2) ——[f] , [v] 5. 基礎発音の説明と訓練(3) ——[T] , [ɛA] 6. 基礎発音の説明と訓練(4) ——[l] , [r] 7. 基礎発音の説明と訓練(5) ——[ɜ], schwa など 8. 基礎発音の説明と訓練(6) ——[Hððɔ̃], [ðH] 9. 基礎発音の説明と訓練(7) —— 語尾の子音 10. 基礎発音の説明と訓練(8) ——リエゾン 11. 基礎発音の説明と訓練(9)——文節の切り方 12. 小林練習文暗唱試験(1) 13. 洋楽書取テスト 14. 前期総まとめと帰国生文詳細説明と発音実習 15. 前期テスト 16. 小林練習文暗唱試験(2)と洋楽書取採点と講評 17. 通常訓練と個別発音クリニック(1)——基本説明と講習 18. 通常訓練と個別発音クリニック(2)——学生1～5 番まで 19. 通常訓練と個別発音クリニック(3)——6～10 番まで 20. 通常訓練と個別発音クリニック(4)——11～15 番まで 21. 通常訓練と個別発音クリニック(5)——16～20 番まで 22. 通常訓練と個別発音クリニック(6)——21～25 番まで 23. 通常訓練と個別発音クリニック(7)——26～30 番まで 24. 通常訓練と個別発音クリニック(8)——31～35 番まで 25. 通常訓練と個別発音クリニック(8)——36～40 番まで 26. 新英語自己紹介撮影/発音クリニック未受験者再試 27. 教材ビデオ再訪/新英語自己紹介ビデオ感想提出 28. <帰国子女>テープの After 版録音/比較分析 29. 発音クリニック・個人カウンセリング(希望者のみ) 30. 後期テスト <p>★毎週木曜日の昼休みに「英会話サークル」を開いている。自由参加であるのでこのクラスの評価には連関されない課外活動であるが、発音クリニックの成果の確認には最適の機会である。できるかぎりこういう機会を利用して、コミュニケーションとしての英語力を身につける態度が重要である。詳しくは担当者の個人的ホームページを参照のこと： http://www.ne.jp/asahi/takamura/hiromasa/</p> <p>★英語や発音訓練や通訳訓練に関する各種質問やコメントはメールで送信すること (takamuh@osaka-ohtani.ac.jp)。</p> <p>★授業参加の熱意と10分/日発音訓練の記録が評価の根幹である。時間厳守。各種宿題の提出は重要である。</p>		